

「当院退院時における住宅改修指導の妥当性に関する検討」

についてのお知らせ

国立病院機構東埼玉病院では、標記の研究を行っております。

1. 実施目的について

当院 1-1 病棟で入院リハを行い、自宅退院される患者さまに対して行なっている住宅改修指導に関して、その指導内容が、患者さまそれぞれの身体能力や認知機能に即した適切なものであることを明らかにします。

2. 実施内容について

当院 1-1 病棟で入院リハを行い、平成 20 年 1 月～平成 23 年 12 月に自宅退院され、かつ退院時に介護保険を利用して住宅改修や福祉用具購入などを行った患者さまを対象といたします。

対象となる患者さまもしくはその主介護者に対し、現在の手すりや福祉用具などの使用状況を電話にて聴取し、当院退院時の指導内容の妥当性を検討いたします。

3. 調査期間

平成 23 年 12 月(本研究の承認日)～平成 24 年 6 月 30 日

4. 研究責任者

安西 敦子 (国立病院機構東埼玉病院リハビリテーション科医師)

5. 個人情報およびプライバシーの保護について

この研究では、当院退院時の住宅改修に関する情報を連結匿名化して記録します。この研究による個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じませんし、この研究に個人情報が使用されることもありません。

この研究についてご質問があるときには、上記の研究責任者までお問い合わせください。また、この研究に参加されたくない方は、上記の研究責任者にお申し出ください。